



かも博美後援会 会報誌 わかば

No. 50

裾野市議会議員

2023.7

か も ひろ み
賀 茂 博 美



裾野市伊豆島田 230-4

TEL・FAX: 993-1876

どうする文化センタースプリンクラー事故



6月27日 事故調査委員会よりスプリンクラー事故に対する最終報告書を市へ提出

結論「本件事故の原因は特定できない。但し、本件事故が人為的以外の原因で発生した可能性は排除できない」

調査の焦点は、誤作動による放水を引き起こすだけの漏水が配管内にあったかどうか。事故調は、二つの手法で配管内の漏水量を調査

その1 排水バルブの配管を取り外し目視で配管内に漏れた水量の経過観察。水漏れはあったがスプリンクラーを放水するに至るまでの水量は確認できなかった。

その2 メーカーによるバルブ調査では一斉開放弁を開放させるのに十分な漏水を認めることができる。

二つの結果は矛盾するが、どちらもしっかり調査した結果であり原因は特定できない。また、バルブの内部に傷があり漏水の原因になったとみられることが判明。

市は第三者が故意に作動させた可能性もあるとして、裾野署に相談。署は鑑識や関係者への聞き取りをしたが、第三者の関与を示す証拠は見つかっていないという。（報道より）

※事故調査委員会の報告書は裾野市のHPで確認することができます。→



6月28日 市は楽団に対して和解金の支払いを申し入れる考えを表明

「スプリンクラーがなぜ放水されたのか、事故原因が特定できない

ということが明らかになった。市に瑕疵があったかどうかは断定できない。」

しかし、楽団は大きな損害を受けておりご心労をかけている。和解金の支払いに向けて協議を申し入れたい。楽団との話し合いが不調になった場合には、民事調停の申し入れも検討している。大ホールの再開時期は、改修のあり方を含め今年度内に方向性を出したい。



市長自ら楽団側へ問題解決に向けた意思を伝える考えはないかとの質問には「今後は弁護士同士の話し合いになるので、私自身が出向くことはない」と回答。市は当初「設置や管理に瑕疵が認められなければ公金で補償することはできない」との考えを示していたが、和解金を支払うことで解決を図る方針に転換した。また、和解というのは賠償や補償ではないと強調した。（報道より）



Q. 地域公共交通について



裾野市の地域特性から、朝夕は通勤・通学をターゲットにした路線バスの充実、昼間は行きたい時間・場所に柔軟に対応できるデマンド交通の導入など、裾野市の公共交通を持続するための検討が必要ではないか？

今ある路線バスのルートの変更などを考えていく中で提案を含めて広く検討していきたい。



Q. 「ウーブン・シティのあるまち」としてのまちづくりについて



裾野市の大きな転機である「ウーブン・シティ」があるまちとして、その効果を最大限活かせるまちづくりをしていく必要があるのではないか？

ウーブン・シティによる実証実験により市民への恩恵を受けられるように連携を図りつつ、ウーブン・シティありきではなく、裾野市の進むべき道を市長戦略に定め、そのビジョンを推進していく。



一般質問は YouTube にて映像配信しています。議員が様々な市政の課題について質問していますので、ぜひご覧ください。

YouTube



豪雨災害の被害状況



市道 1-5 号線 千福地先

6 月初旬の豪雨では、土砂災害警戒情報、大雨警報、洪水警報が発表され、避難指示の発令、避難所の開設など不安を感じた方もいたのではないかと思います。

市内では、市道 1-5 号線の佐野川護岸の崩落、茶畑・公文名地先での土砂崩れなどがありました。

今後、国の災害査定により復旧工事を進めていくこととなります。

(道路災害復旧設計委託 8 0 0 万円計上)

市道 1-5 号線千福地先では、当面の間、迂回が必要となっていますがご理解ご協力をお願いいたします。

編集後記

6 月の豪雨では静岡県内に線状降水帯が発生し、強い雨が降り続く状況となりました。最近では短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨が頻発し、特に宅地等の開発が進んだ都市部では、川の急激な増水が生じたり、道路や住宅の浸水などの被害も発生しています。

我が家では、防災グッズや非常食の備蓄を見直しました。7 月から 9 月は豪雨災害の多い時期となります。万が一の災害時に備え、非常持ち出し袋の点検、ハザードマップで危険箇所や避難所をチェックするなど、防災について考える機会にしてください。よろしくお願いします。

裾野市議会議員 賀茂 博美